

<p>PSB (Process Safety Beacon) 2006年7月号 の内容に対応</p>	<p>SCE・Net の 安全談話室 (No. 4) http://www.sce-net.jp/anzen.html</p>	<p>化学工学会 SCE・Net 安全研究会作成 (編集担当:小林浩之)</p>
--	---	--

7月のテーマ:こんな状態でパレット保管している？

(PSB 翻訳担当: 澁谷徹、小林浩之、小谷卓也(纏め))

司会: パレットの上にいるいろいろな物を載せて現場に置いておくことはありませんか。

IWM: フォークリフトで運んできた人が、適当な所にパレットを置いて帰ってしまうことがありますね。

SBY: 便利だからと言って、設備周りに原料・薬剤を臨時に保管することは厳禁ですよ。もし保管場所を設置するなら、安全基準に則り、安全審査を行った上で、正規な保管場所として管理しなければならですね。

UNO: 安全活動の一つである3S～5S運動などは、この種の危険を事前に察知し、適切な措置を促す効果も期待できます。(3S:整理・整頓・清掃、4S:3S+清潔、5S:4S+躰 または 習慣)

KBS: 同感です。安全の基本は5Sです。つまり5Sの上に初めてもうひとつのS(safety)が乗るということです。

NGY: 化学薬品を保管する場合、当日だけの仮置きを除いて、一時保管であれ内容物、責任者、保管期日を表示することが職場でルール化しておくことが望ましいですね。

漏洩すると危害発生が予想される薬品であり、また少しでも漏洩の可能性が考えられるものであれば、ドラム缶を受け容器(角バットなど)に入れると良いでしょう。

WTB: 原料購入時の包装、荷姿のチェックを徹底して、先入れ先出しを励行することも大切なことです。

UNO: 混触危険の参考文献として次のようなものがあります。

化学防災指針集成 日本化学会編 丸善

危険物ハンドブック ギュンター・ホンメル編 新居六郎訳 シェフリンガー・フェアラーク東京

危険物データブック 東京消防庁警防研究会編 丸善

【談話室メンバー】

HOK: 日置 敬、IWM: 岩村孝雄、KBS: 小林浩之、KTN: 小谷卓也、MZG: 溝口忠一、NGY: 長安敏夫、NKG: 中川雅造、SBY: 澁谷 徹、UNO: 宇野 洋、WTB: 渡辺紘一、YMZ: 山崎 博、YOK: 山岡龍介